



令和8年8月31日 浮孔保育所

厳しい残暑が続いていますが、朝夕には少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。子どもたちは、夏の遊びを思い切り楽しみ、心も体もひとまわり大きくなったように感じます。

9月は、体を動かして楽しむ活動が増えていきます。しかし、夏の疲れが出やすい時期でもありますので、体調に気を配りながら休息と水分補給を行い、元気に過ごしていきたいと思います。

夏祭りごっこにおきて

家庭から夏祭りに出掛けた子どもたちも多く、楽しかった体験をたくさん話してくれていました。

徐々にその体験を再現して遊ぶ姿が見られ、夏祭りごっこがクラスで盛り上がっていました。自分が見たものや体験したものを友達に話し、楽しさを共感し合い、一緒に何をすれば再現できるか試行錯誤しながら、何日もかけてつくっていました。思うようにうまくいかない体験も、友達と一緒になら「次はこうしてみよう！」と励まし合い、出来上がっていく日々の、子どもたちのわくわくやキラキラした思いが大きくなっていきました。これから、クラスで店員さんとお客さんに分かれて遊び、徐々に他のクラスの友達を呼んでみんなで盛り上がっていくことでしょう。

子どもたちにとって、経験したことを再現して遊ぶことには、楽しかった記憶や感情を整理し、心が満たされていきます。また、自分でつくったもので友達が喜んでくれることで、自尊感情が育ち自信や次への意欲と繋がっていきます。小さいクラスの子どもたちも一緒に何度も楽しんでいきたいと思います。



- 幼少期の終わりまでに育ってほしい10の姿
- ① 健康な心と体
 - ② 自立心
 - ③ 協同性
 - ④ 道徳性・規範意識の芽生え
 - ⑤ 社会生活との関わり
 - ⑥ 思考力の芽生え
 - ⑦ 自然との関わり・生命尊重
 - ⑧ 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚
 - ⑨ 言葉による伝え合い
 - ⑩ 豊かな感性と表現



秋の夜長はゆっくり絵本タイムを

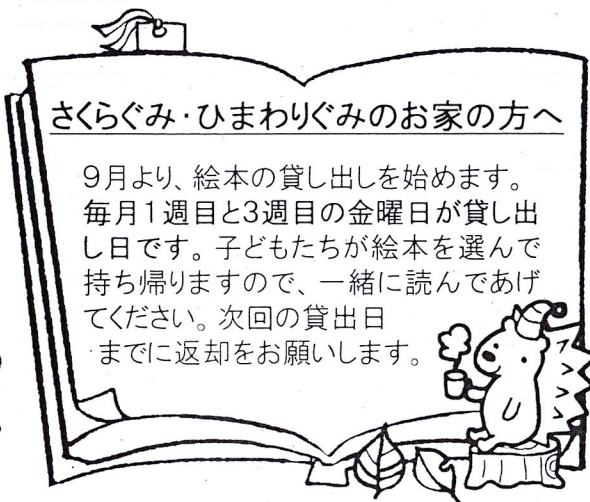
秋の夜長は、読み聞かせをするのにぴったりな季節です。お月見など月や星のお話、秋の自然を描いた物語や絵が楽しい絵本、大人も一緒になって楽しめる絵本も多くあります。お家の方が小さい時に好きだった絵本を読んであげるのも素敵ですね。

夜眠る前のお布団の中や膝の上に乘せて抱っこなど、スキンシップをとりながらゆっくり読み聞かせの時間を親子で楽しんでください。



さくらぐみ・ひまわりぐみのお家の方へ

9月より、絵本の貸し出しを始めます。毎月1週目と3週目の金曜日が貸し出し日です。子どもたちが絵本を選んで持ち帰りますので、一緒に読んであげてください。次回の貸出日まで返却をお願いします。



9月の行事予定

1	火	安全点検の日	16	水	避難訓練
2	水	諸費袋配布	17	木	園庭開放
3	木	諸費集金	18	金	誕生会 ☆絵本貸し出し(4・5歳児)
4	金	えいごであそぼう ☆絵本貸し出し(4・5歳児)	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	敬老の日
7	月		22	火	国民の休日
8	火	園外保育(4歳児 5歳児)	23	水	秋分の日
9	水		24	木	
10	木	身体計測	25	金	
11	金	人権を確かめあう集い	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	

9月1日は防災の日

7月には熊本で震度7強の地震が起こり、多くの方が被災されました。地震はどこで起こるか分からないからこそ、日頃から災害に備えておくことが大切です。

保育所では、子どもたちの大切ないのちを守るため、毎月の避難訓練であらゆる想定の下、実践的な動きが訓練できるように取り組んでいます。子どもたちも、いざという時に自分のいのちを守るための行動を少しずつ身につけています。



ご家庭では、この機会に災害が起きた時にどうするのか、お子さんと一緒に話をしてみてください。

また、防災リュックの中身や非常食、飲料水の消費期限なども、今一度確認しておきましょう。

『もしもの時』に備えて、大切ないのちを守る準備をしていきたいですね。



★運動会は10月31日(土)です。

去年と同様に0・1・2歳児と3・4・5歳児で時間を分けて行う予定です。

詳しくは後日手紙を配布いたします。

★0～3歳児の秋の園外保育は、11月に予定しております。

★9月よりおむつのサブスクのサービスが始まります。

必要な方はQRコードを読み込みお申込みください。



1Month

お知らせ



★9時までに登所しましょう。

登所時間(9時)以降から、降所時間(16時)まで、大門と通用門は子どもの安全のために施錠します。

施錠されている時間帯はインターホンを鳴らしてください。

★車で送迎される場合は、必ず駐車場をご利用下さい。
保育所周辺での車の乗り降りは、危険ですとおやめください。

大切な子どもたちのいのちを守るために、ご協力をお願いします。